

おおいゆめバス利用実績について

おおいゆめバスが本格運行を開始してから5ヶ月が経過したことから、利用実績を基に令和8年度の目標に対しての現状と、地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）の補助要件について報告をする。

1 大井町の目標に対する達成度

1-1 大井町の目標

- ① 一般利用者数 6,000 人、小中学生利用者数 4,000 人

令和8年度までに利用者数のうち、一般利用者数を年間で 6,000 人、小中学生の利用者数を 4,000 人にする。

- ② 収支率 8,7%の確保

令和8年度までに委託料 1,500 万円のうち、収支率 8,7%（1,305 千円）とする。

1-2 利用者実績

(1) 路線別・ダイヤ別利用実績

- 一般利用者数の目安となる相和循環と西大井金子循環のこれまでの利用者数は、2,039 人である。利用者数が最も多かった5月と、最も少ない9月では、利用者数が2割減少している。
- 西大井・金子循環の利用者数は、運行を開始した5月が最も多く、その後は減少し、9月では利用者数が8人となった。
- いこいの村あしがら～大井町役場（登下校ルート）のこれまでの利用者数は2,299人である。7月と8月は、湘光中学校が7月21日～8月26日まで夏休みに入ったため利用者数が減少している。
- いこいの村あしがら～大井町役場（登下校ルート）の登校②便の利用者数は、400人を越えるが、下校⑧便と⑨便の利用者数は、登校②便の利用者数の40%以下である。

表1 路線別・ダイヤ別利用者数（令和4年5月2日～9月30日）

	相和循環					西大井・金子循環	小計 (相和循環+西大井・金子循環)	いこいの村あしがら～大井町役場（登下校ルート）					合計
	往路		復路		小計			登校		下校		小計	
	③便	⑥便	⑤便	⑦便		④便		①便	②便	⑧便	⑨便		
	8:00発	13:10発	10:35発	14:45発		9:35発		6:06発	7:24発	16:27発 ※1	※2		
5月	164	62	151	50	427	36	463	26	425	60	111	622	1,085
6月	131	50	125	57	363	11	374	23	479	74	97	673	1,047
7月	166	41	147	44	398	20	418	9	279	49	35	372	790
8月	173	40	134	42	389	28	417	2	66	2	1	71	488
9月	154	38	129	38	359	8	367	8	417	51	85	561	928
合計	788	231	686	231	1,936	103	2,039	68	1,666	236	329	2,299	4,338

※1：4～9月…16：27発、10～3月…15：57発

※2：4月…18：10発、5月…18：25発、6・7月…18：40発、9月…17：55発、10・2月…17：25発、11～1月…17：12発、3月…17：40発

(2) 曜日別利用者実績

①相和循環及び西大井金子循環

・相和循環及び西大井・金子循環の平均利用者数は、土曜日の利用者数が8,7人と一番多いが、平日の利用者数に差はない。

表2 【相和循環】曜日別ダイヤ別利用者数のまとめ

	曜日別利用者数 (人)					曜日別運行回数					曜日別日平均 (人/便)				
	月	火	金	土	小計	月	火	金	土	小計	月	火	金	土	小計
5月	134	108	107	78	427	20	16	16	8	60	6.7	6.8	6.7	9.8	7.1
6月	98	124	82	59	363	16	16	16	8	56	6.1	7.8	5.1	7.4	6.5
7月	86	109	108	95	398	12	16	20	10	58	7.2	6.8	5.4	9.5	6.9
8月	104	119	105	61	389	20	20	16	8	64	5.2	6.0	6.6	7.6	6.1
9月	89	107	90	73	359	12	16	16	8	52	7.4	6.7	5.6	9.1	6.9
合計	511	567	492	366	1,936	80	84	84	42	290	6.4	6.8	5.9	8.7	6.7

表3 【西大井・金子循環】曜日別ダイヤ別利用者数のまとめ

	曜日別利用者数 (人)					曜日別運行回数					曜日別日平均 (人/便)				
	月	火	金	土	小計	月	火	金	土	小計	月	火	金	土	小計
5月	13	3	12	8	36	5	4	4	4	17	2.6	0.8	3.0	2.0	2.1
6月	3	2	1	5	11	4	4	4	4	16	0.8	0.5	0.3	1.3	0.7
7月	0	15	3	2	20	3	4	5	5	17	0.0	3.8	0.6	0.4	1.2
8月	7	7	10	4	28	5	5	4	4	18	1.4	1.4	2.5	1.0	1.6
9月	5	0	3	0	8	3	4	4	4	15	1.7	0.0	0.8	0.0	0.5
合計	28	27	29	19	103	20	21	21	21	83	1.4	1.3	1.4	0.9	1.2

②いこいの村あしがら～大井町役場（登下校ルート）

・いこいの村あしがら～大井町役場（登下校ルート）の平均利用者数は、木曜日が4.4人と他の曜日よりもやや少ないが大きな差はない。

表4 【いこいの村あしがら～篠窪～大井町役場（登下校ルート）】曜日別ダイヤ別利用者数のまとめ

	曜日別利用者数 (人)						曜日別運行回数						曜日別日平均 (人/便)					
	月	火	水	木	金	小計	月	火	水	木	金	小計	月	火	水	木	金	小計
5月	157	179	104	69	113	622	25	20	15	15	20	95	6.3	9.0	6.9	4.6	5.7	6.5
6月	129	115	165	133	131	673	20	20	25	25	20	110	6.5	5.8	6.6	5.3	6.6	6.1
7月	57	88	89	52	86	372	10	15	25	25	20	95	5.7	5.9	3.6	2.1	4.3	3.9
8月	21	23	27	0	0	71	5	5	5	0	0	15	4.2	4.6	5.4	-	-	4.7
9月	89	97	115	138	122	561	15	20	20	25	20	100	5.9	4.9	5.8	5.5	6.1	5.6
合計	453	502	500	392	452	2,299	75	80	90	90	80	415	6.0	6.3	5.6	4.4	5.7	5.5

2 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金に対する達成度

2-1 補助要件

地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金とは、「地域特性に応じた最適な生活交通ネットワークを確保維持するために、幹線の路線と密接な地域内のバス路線やデマンド路線の運行に対して支援するものであり、経常経費から経常収益を差し引いた額の1/2が補助される。当該補助要件の一つとして、補助対象期間の1回当たりの輸送量が2人以上の必要がある。

2-2 1回当たりの輸送量の実績

- ・相和循環の往路③便、⑥便では、輸送人員1,019人、運行回数が145回であり、1日の平均利用者数は7.0人となり、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の補助対象となる。
- ・相和循環の復路⑤便、⑦便では、輸送人員917人、運行回数が145回であり、1日の平均利用者数は6.3人となり、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の補助対象となる。
- ・西大井・金子循環では、輸送人員103人、運行回数が83回であり、1日の平均利用者数は1.2人である。地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の補助要件は、1循環当たりの輸送量が2人以上の場合に補助の対象である。(令和4年度事業においては、これを適用しないことが決まったため、西大井・金子循環も補助の対象となる)

表5 1回当たりの輸送量

	輸送人員	運行回数	1回当たりの輸送量
①相和循環往路(③便、⑥便)	1,019人	145回	7.0人
②相和循環復路(⑤便、⑦便)	917人	145回	6.3人
③西大井・金子循環(④便)	103人	83回	1.3人

参考① 輸送人員

	相和循環				小計	西大井・金子循環	合計
	往路		復路			④便	
	③便	⑥便	⑤便	⑦便		9:35発	
	8:00発	13:10発	10:35発	14:45発			
合計	788	231	686	231	1,936	103	4,338
	1,019		917				

参考② 運行回数

	相和循環				小計	西大井・金子循環
	往路		復路			④便
	③便	⑥便	⑤便	⑦便		
	83	62	83	62		
合計	83	62	83	62	290	83
	145		145			

3 現状について

- ・現在のペースで利用があった場合、一般利用者数の目標に対しては1,200人不足であり、小中学生の利用者数は現在のペースのままであれば目標4,000人に達する見込みである。

(一般利用者数) 5ヶ月で2,000人=400人/月

→年間で4,800人

(小中学生) 5ヶ月で2,249人=460人/月

→年間で5,520人

- ・現在のペースで利用があった場合、収支率の目標に対しては、2,3%不足である。

(収支率) 年間利用者数4,800人×200人=960千円

→960千円÷15,000千円×100=6,4%

- ・国庫補助要件に対して、西大井・金子循環は1回当たりの輸送量が0,7人不足である。

4 今後について

- ・利用者が少ない地域や時間帯を分析し、見直しを行う。
- ・公共交通マップ・おでかけモデルプランを配布し、おおいゆめバスの周知及び利用促進を図る。
- ・利用者アンケートを実施し、ニーズの把握を行う。